

第3号様式

令和5年度第3回船橋市市民活動サポートセンター運営協議会 会議録

(令和5年12月28日作成)

- 1 開催日 令和5年12月21日(木) 13時30分～15時30分
- 2 開催場所 市役所本庁舎9階 第1会議室
- 3 出席者 (1) 柿崎委員、廣田委員、森委員、斉藤委員、田久保委員、
齋木委員、西野委員、谷山委員、海老田委員、依田委員、南山委員
(2) そのほか関係機関 船橋市ボランティアセンター 八東氏

(3) 事務局 市民協働課 松丸市民協働課長 石毛市民協働課長補佐
矢田市民協働係長 富沢主事、小山主事

4 欠席者 川島委員、柴田委員、谷合委員、

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

(1) 各部会の報告

① 広報部会

② 団体支援部会

③ 市民参加部会

(2) 事務局報告 ※全て公開

6 傍聴者数 0名

7 決定事項 ※【 】は発言者

(1) 広報部会

① 説明

資料1 活動報告書に沿って活動内容を説明【西野委員】

資料2、3に沿って運営協議会Xの状況報告【谷山委員】

資料4、5に沿って運営協議会Xの今後の運用に関する提案【谷山委員】

② 質問と回答

質問：広報部会は紙媒体とSNSどちらの情報発信に注力をしていきたいのか。

【齊藤委員】

回答：どちらも並行して実施していきたいと考えている。【西野委員】

質問：紙媒体には発行時期やページ数の制約、情報の蓄積が難しいなどのデメリットがあると思うが、そのデメリットを市民力発見サイトのブログとXで補完できていると思うか。【齊藤委員】

回答：デメリットの補完の点については、まだ不十分だと思う。

紙媒体でしみりよくを見ている方の中には、SNSを見ることのできない方もいるので、紙媒体も残しながら対応していきたい。【西野委員】

意見：今後どのように補完をしていくのか、広報部会で話し合っていたきたい【齊藤委員】

質問：資料2について、Xの閲覧数が多くて良いと思うがクリックは同じ人が複数回クリックをした場合1カウントとなるのか。【柿崎委員】

回答：URLのクリック数については、Xの仕様で同じ人が複数回クリックした場合はクリックした回数分カウントされる。【海老田委員】

③ 決定事項

報告書類の内容が承認された

③ 今後の課題

—

(2) 団体支援部会（活動内容とプロボノ実施説明の報告）

① 説明

資料6 部会報告書に沿って部会活動の説明【廣田委員】

② 質問と回答

質問：プロボノの説明会の参加者は何名であったか。【南山委員】

回答：40名程度であった。【廣田委員】

質問：資料7にある「ふなばし情報メール」とは何か。【依田委員】

回答：ご登録いただいている方に対して、市からイベント情報などをメールで配信できる機能である。市民協働課から情報発信を行うことのできる対象者は情報メール内の「ボランティア」情報を受け取る設定をいただいている

約2000人である。【事務局】

質問：市民への周知はどのように行っているのか。【依田委員】

回答：市ホームページでの周知に加え、分野ごとに所管課が案内をしている。

【事務局】

質問：情報メールはどのくらい頻度で発信しているのか。【谷山委員】

回答：定例的に発信しているものではなく、運営協議会や当課主催の事業等のお知らせがある際に使用している。

より頻度を高く発信してもよいと思う。【事務局】

質問：市民大学の学生には情報メールを周知しているのか【齋木委員】

回答：現役の学生には周知していないので、検討する【事務局】

③ 決定事項

報告書類の内容が承認された

④ 今後の課題

—

(3) 市民参加部会

① 説明

資料1 1 部会報告書に沿って部会活動の説明【南山委員】

資料1 4 西蔭先生講演会の実施報告【依田委員】

資料1 6 公募型市民交流参加事業の実施報告【事務局】

資料1 9 市民活動はじめの一步ワークショップ企画案に沿ってコンセプト共有
【南山委員】

② 質問と回答

質問：企業のパネル展示について、船橋市と包括連携協定を結んでいる企業に
声がけをしているのか。【谷山委員】

回答：市民活動フェアに参加いただいているパネル展示企業4社については、
包括連携協定先の企業としてお声がけをしている。【事務局】

意見：包括連携協定先の企業であれば、参加していただけたらと思う。【谷山委員】

回答：市民協働課と検討を行う。【南山委員】

質問：西蔭先生の講演会について、参加者はどの広報媒体をきっかけに参加された方が多いのか。【谷山委員】

回答：資料15のアンケート結果を参考いただきたい。【事務局】

意見：公民館事業の参加者は9割が80代である。

南山委員に共有いただいた若い方が新たな事業を始めるきっかけづくりは非常に大切なことだと感じる。【齋木委員】

質問：公募型交流企画は単なる団体紹介とは差別化されており、とても良い企画だと感じる。

実施回数や募集团体数を増やすことができないのはなぜか。【斉藤委員】

回答：他の事業との兼ね合いで今年度は1回の実施となった。

今後は部会及び市民協働課と検討する【南山委員】

③ 決定事項

報告書類の内容が承認された

④ 今後の課題

—

(4) 会長総括

今期から新たに市民参加部会が設置され、様々な市民向け事業が実施されてきたが公民館事業との差別化の検討が必要だと感じる。

その意味では、市民活動はじめの一步ワークショップは意義のある企画だと思う。

部会単独で活動を進めてしまうと非効率であり、いい結果につながらないため情報交換や意思疎通を心がけて一丸となって取り組んでいきたい。【柿崎委員】

8 その他

次回は令和6年3月28日（木）13時30分から、市役所本庁舎9階第1会議室にて開催予定。

9 問い合わせ先

市民生活部 市民協働課 電話番号：047-436-3201